

平成25年度 租税教育に関する研究発表資料

平成25年11月13日
亘理町立高屋小学校

教諭 小松 晃

1 研究主題

『税金の大切さを考えることのできる児童の育成』

～総合的な学習の時間「人権福祉」学習－だれもが幸せに生きる町づくりを通して～

2 主題設定の理由

本校の学校教育目標は『夢を持ち、希望を叶えるためにがんばる児童を育てる』である。

今日の日本を取り巻く状況は、長年の経済低迷や少子高齢化など様々な社会的問題を抱え、明日が見えにくくなっている。しかし、これからの日本を支え、明日をになう子どもたちには、将来を見通し、たくましく生きていく力が必要とされている。

また、学校教育目標をうけ、本校では、総合的な学習の時間で『人権福祉』をテーマに掲げ、3学年で車椅子体験や白杖体験（体・目の不自由な人についての理解）、4学年で手話体験（耳の不自由な人についての理解）、5年生でデイサービス訪問（お年寄りとの交流・施設の理解）と居住校交流、6学年で支援学校訪問、そして全校で聴覚支援学校との交流学習などを行っている。その際、以下の3点を目標に取り組んでいる。

- 自ら課題を見つけ、主体的・創造的に探究活動に取り組み、よりよく問題を解決していく資質や能力を育てる。
- 学び方やものの考え方を身に付け、問題解決や探究活動に主体的・協同的に取り組む中で自己の生き方を考えることができるようにする。
- 様々な人とのかかわりの中で、自分の生き方を見つめ、学んだことを自分の生活に生かそうとする態度を育てる。

租税教育に取り組むに当たり、総合的な学習の時間の系統性と特に目標の第3項目にある「人とかわる中で」「自分の生活を見つめ」「生活に生かそうとする」態度の育成に重点を置き、租税教育に取り組んでいく。このことにより、これからの社会を創造していく人間を培う機会になるのではないかと考える。

実際の学習では、多種多様な税種の中でも、消費税に着目していくこととした。その理由として、児童も負担しており、身近な税としてとらえやすいこと、国や地方の歳出の3分の1は「わたしたちの健康や生活を守るための社会保障関係費」であり、消費税はその財源となっていることからである。

また、社会的な必要性が高く、福祉の観点からも理解しやすく、取り組む方向性が絞れるからである。

そこで、総合的な学習の学年系統性や内容と関連付けながら、自らが考え取り組んでいこうとする意識を高めていくことともに、主体的に税を生かそうとする学習機会の設定が大切になると考えこの主題を設定した。

3 研究目標

○税金の役割を理解し、その大切さを知り、これからの社会づくりに生かそうとする意識と態度を育てる。

4 研究仮説

次のような指導や支援を行えば、児童は税金の役割とその大切さを理解するであろう。

○税金がどのように生かされているのかを具体的に知るためにビデオ資料やインターネット資料を活用する。

○調べたことやインタビューしたことを基に、発表し合う場を設け、税に対する情報を交流・交換し合い理解を深める。

○児童が主体的に税金を生活に生かしていこうという意識が高まるよう「人権福祉」学習の経験や日常的な経験を基にした「だれもが幸せに生きる町づくり」に取り組む。

5 研究の方法

- (1) 児童の税金に対する事前の意識・知識調査をする。
- (2) 租税教室を行い、税金に対する興味・関心を高めるとともに理解を図る。
- (3) 租税教室を基に税金について調べたいこと（課題）を設定する。
- (4) 税金が町づくりにどのように生かされているのか調べることを通じ、身近な税の使われ方について考える。※インターネットや資料を使って、課題を追究する。
- (5) 「だれもが幸せに生きる町づくり」と題し、わたしのアイデア施設・設備づくりに取り組み、発表会を行う。
- (6) 児童の税金に対する変容をつかむために事後調査を行う。

6 研究計画

6月	事前調査（質問紙） 租税教室（5年生 11名） 中間調査（感想文・課題設定）
9月～10月	授業実践 事後調査 研究のまとめ
11月	研究発表

7 研究の概要

(1) 事前調査の結果（6月25日実施）

項目1-1 税金とは何か知っていますか。

○知っている…11名 ○知らない…0名

項目1-2 税金についてどんなことを知っていますか。（複数個回答した児童有り）

- ・信号機や公園、道路など税金でつくられる（4名）
- ・国に払うお金（4名）

- ・消費税は100円買ったなら5円かかる（3名）
- ・消費税とか大人が払うお金（1名）
- ・地震の復興などにも使われている（1名）
- ・消費税以外にも種類がある（1名）
- ・無回答（2名）

項目2-1 税金は必要だと思いますか。理由も書きましょう。

- 必要…9名 どちらかといえば必要…2名

〔理由〕

- ・道路など作ったり直したりできなくなるから（4名）
- ・生活に困るから（3名）
- ・みんなの生活が大変になるから（1名）
- ・信号機や道路など税金で管理していないと大変だから（1名）

- どちらかといえば必要…2名

〔理由〕

- ・消費税が無かったら、物が少し安く買えるけれど、税金がなかったら公園など無くなってしまうから（1名）
- ・何となく（1名）

- どちらかといえば必要ない…0名

- 必要ない…0名

項目3 税金はどんなことに使われているか知っていますか。（複数個回答した児童有り）

- 知っている…5名 知らない…6名

- ・税金でゴミが集められている（4名）
- ・税金で道路や信号機、橋、公園などが作られ、管理されている（4名）
- ・教科書代は税金で払っているからお家で払わなくていい（3名）
- ・学校を建てたり、学校に必要な物を買ったりしている（2名）

項目4 税金についてどんなことを学習・調べたいと思いますか。

〔回答〕

- ・町では税金を使ってどんな施設を作っているのかについて（4名）
- ・国の税金はどのくらいあるのかについて（4名）
- ・税金の種類について（2名）
- ・税金がないと生活はどうか（1名）
- ・消費税はなぜ増えるのかについて（1名）

【考察】

税金について11名全員が知っていたが、具体的な用途について記述した児童に尋ねたところ「でこぼこな道を走っているとき、お父さんが税金で直してほしいと言っていた」「公園の土が津波で臭くなっていたとき、お家の人と言っていた」など日常的な会話の中で聞いたことがある程度であった。ごみの回収については4名が回答したが、4年生の時に学習した経験や「ごみの

回収が遅れたときお家の人が言っていた」など、税金の意義について理解している児童はいなかった。

また、どちらかといえば必要と答えた児童が2名いた。「安く買いたい」という意見は、だれもが考え得る回答であり、このアンケートの集約結果・回答内容を知らせたところ、「確かにそう思うときがあるよね。特に高い物を買ったとき。」など同じように感じる発言をする児童が多かった。

以上のような児童の実態を踏まえ、学習を通して具体的に税金がどのように使われ、わたしたちの生活を支えているのかその有用性を知り、税金の必要性を理解できるよう学習を進めていきたい。

(2) 学習計画 『総合的な学習の時間』(10時間扱い)

段 階	主な学習内容	時間	資料など
①事前調査	○アンケートを実施し児童の実態を把握する。	1/2	
②租税教室 税金について知ろう	○税金について理解を深め、興味・関心を高める。	1	DVD視聴 1億円のレプリカ
③中間調査	○租税教室をふり返って、税金の役割や目的について知ったことを感想文にまとめる。	1 1/2	
④税金について 知ろう・調べよう	○租税教室からもっと調べたいことを課題にして追究活動をする。	2	国税庁ホームページ 県・町ホームページ インタビュー資料
⑤税金について 考えよう・ まとめよう	○これまでの学習を振り返り、課題についてまとめる。	2 1/2	
	○「だれもが幸せに生きる町づくり」と称して施設・設備を考え発表する。	2	
	○事後調査を行い、児童の税についての変容を把握する。	1/2	

①【事前調査】…1/2時間

租税教室を実施するに当たり、質問紙による事前調査を行った。

また、集計結果や回答結果を知らせ、租税教室に向けて意識付けを図った。

②【租税教室：税金について知ろう】…1時間

6月28日に税理士の方による講話やDVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」の視聴を行い、基礎的な税金の役割について学んだ。また、児童も「消費税」を払い、それが様々な公共のサービスを支えたり、公共の施設が建てられたりしていることを具体的に教えてもらい、税金の必要性を啓発する機会となった。また、1億円の重さを体験したりすることにより、お金に対する関心を高める機会にもなった。

④【税金について知ろう・調べよう】…2 1/2時間

国税庁のホームページの租税教育教材や租税教室でいただいた「わたしたちの暮らしと税金」のリーフレットをもとに、「税金の種類」や使われ方について調べ、追究活動を行った。また、インターネットを使って宮城県と亶理町の税の歳出入額や内訳など調べ、税金が自分たちの身近で様々な事業や活動に使われていることを知ることができた。

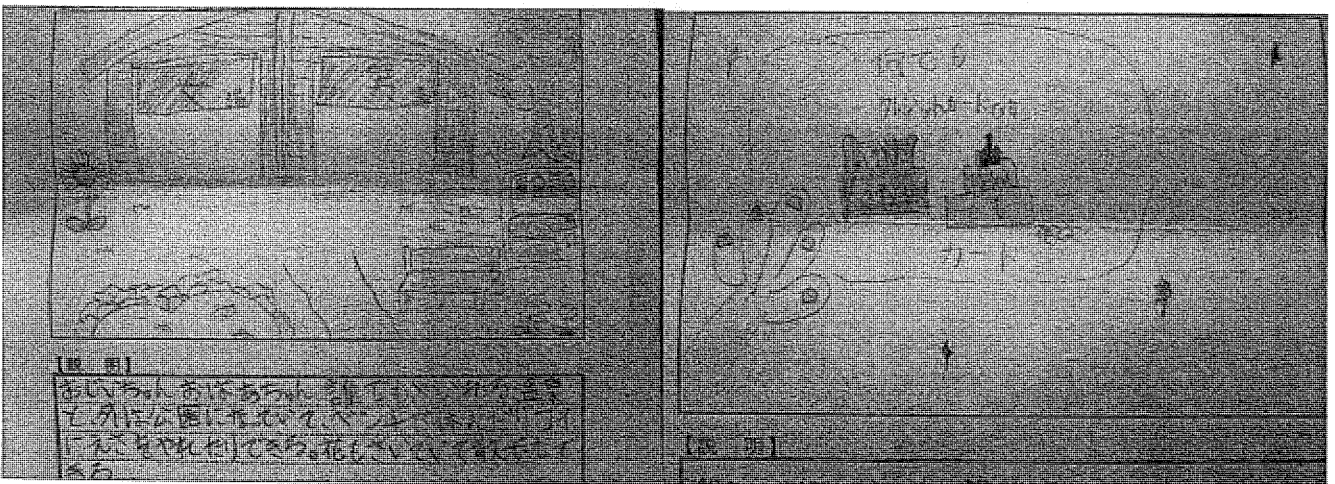
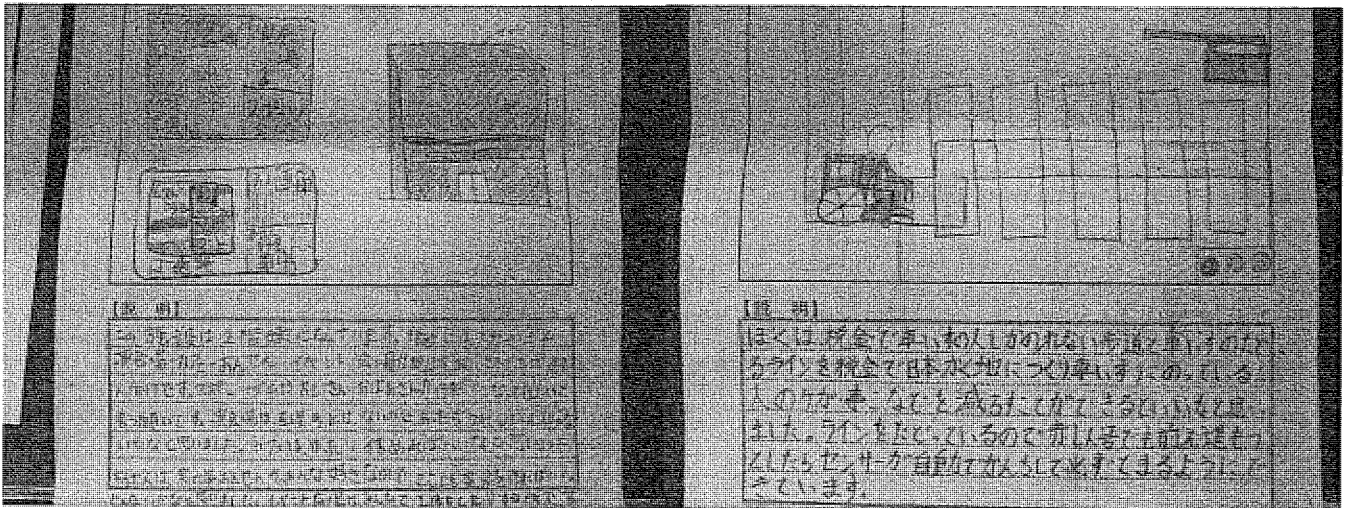
保護者に、「図書館」で働いている方や「デイサービス」を経営している方がいらっしゃるの、「だれもが幸せに生きる町づくり」につながる施設や設備などを質問し、回答していただいた。身近にいろいろなハンデをもった方にも利用しやすい施設・設備づくりが図られていることを知ることができた。

⑤【税金について考えよう・まとめよう】…5時間

税金を生かして「だれもが幸せに暮らせる町づくり」発表会を行う。事前に「いろいろな不自由をもつ人にとって」「お年寄りにとって」「だれにとっても」という視点を設定し、「親子で考えよう未来の町づくり」として家庭にも協力を呼びかけ取り組んだ。

また、税金について学んで、自由に振り返り作文を書き、発表会を行った。追究活動で得た知識や、町づくりに主体的に取り組んだ経験が、具体的にとらえている記述からうかがえた。

〈児童が発表したアイデア施設・設備〉



項目 1-1 税金とは何か知っていますか。

○知っている… 11名 ○知らない… 0名

項目 1-2 税金についてどんなことを知っていますか。(複数個回答した児童有り)

- ・町づくりに生かされるお金 (6名)
- ・みんなの暮らしを幸せにするために払うお金 (3名)
- ・消費税はみんなが払っている (3名)
- ・信号機や公園, 道路など税金でつくられる (3名)
- ・国に払うお金 (3名)
- ・消費税以外にも種類がある (3名)

項目 2-1 税金は必要だと思いますか。理由も書きましょう。(複数個回答した児童有り)

○必要… 11名

[理由]

- ・道路や信号, 町のいろいろな施設を作ったり直したりできなくなるから (4名)
- ・税金がないとみんなのために役立つことができないから (2名)
- ・住みよい生活につながるから (2名)
- ・火事が起こっても消火できないから (1名)
- ・町が汚れたり, 不便なことが増えるから (1名)
- ・みんなが必要なことを税金を払うことで受けることができるから (1名)
- ・教科書や学校などお金がかかる必要な物を国や町が負担してくれるから (1名)

○どちらかといえば必要… 0名

○どちらかといえば必要ない… 0名

○必要ない… 0名

項目 3 税金はどんなことに使われているか知っていますか。(複数個回答した児童有り)

○知っている… 11名 ○知らない… 0名

- ・町の図書館や公民館, その他の施設や設備をつくる (4名)
- ・みんなの生活を守るために使われている (4名)
- ・税金でゴミが集められ処理されている (4名)
- ・税金で道路や信号機, 橋, 公園などが作られ, 管理されている (4名)
- ・教科書代は税金で払っているからお家で払わなくていい (3名)
- ・学校を建てたり, 学校に必要な物を買ったりしている (2名)
- ・病院やデイサービスにも使われている (2名)
- ・ダムが造られている (1名)
- ・消防署, 警察署などを建てたり, そういったところで働く人の給料になる

(1名)

項目4 税金の学習は必要だと思いますか。(複数個回答した児童有り)

- 必要…11名 ○どちらかといえば必要…0名
○どちらかといえば必要…0名 ○必要ない…0名

〔回答〕

- ・なぜ税金を払うのか学んだ方がいいから (3名)
- ・自分たちが払っている税金がどんなことに使われているのか知ることができるから (3名)
- ・幸せな町をつくろうと考えたのが楽しかったから (3名)
- ・税金でつくられている町の施設や設備を知ることができるから (3名)
- ・自分たちも大人になったら払うので、知っていた方がいいと思うから (2名)
- ・学校の校舎や体育館、教室の机や椅子など大切に使おうと思うから (1名)
- ・税金の仕組みが分かるから (1名)

【考 察】

税金の有用性について具体的にとらえている児童が増えたことが分かる。そのため、税金がわたしたちの生活にとって必要であるという意識も高まったことがうかがえる。

8 研究の成果と課題

【成 果】

- 租税教室はとても有意義で、税金に対する興味・関心が高まっただけでなく、税金は児童にとって身近なもの、必要なものとして考えられるようになった。
- インターネットを活用したりや視聴覚教材を取り入れたことで、税金について児童が意欲的に課題を追究する姿が多く見られた。
- 家庭にも協力をいただいて「だれもが幸せに暮らせる町づくり」や「インタビュー」に意欲的に取り組み、児童が主体となって町づくりを考え、税金を有効に使おうという意識を高める機会となった。また、税金を納める立場だけでなく、生かす立場にもなって取り組んだことで税に対する有用性・必要性を認識することができた。

【課 題】

- 租税に関しては、第6学年社会科の学習内容である。第5学年の社会科では扱っていない。今回は、総合的な学習「人権福祉」とのかかわりの深い「消費税」を中心に進めていったが、児童個人で租税の何をどこまで追究させたらよいのか判断に困った。

